

地区だより 令和5年1月1日発行

まつかわ

<地区人口と世帯数>

男 7,515人 女 7,211人
計 14,726人
世帯数：6,611世帯
(12月1日現在)

2023

1月号

松川支所からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所松川支所
〒960-1241 福島市松川町字杉内33番地
☎567-2111 ㊚537-2298

謹賀新年

今年もよろしくお祈りします
松川支所職員一同

交通安全功労者等表彰おめでとうございます!!

令和4年11月21日に第61回福島県交通安全県民大会が、同月25日に第50回福島市交通安全市民大会が開催され、多年にわたり交通安全活動の推進と交通安全教育にご尽力されたご功績により、各表彰を下記のみなさまが受賞されました。

<受賞されたみなさま>

- 福島県交通対策協議会長(知事)表彰 野地 英雄 様(松川支部金谷川分会)
- 福島民報社特別表彰 福島市交通対策協議会松川支部下川崎分会(野地新生分会長)
- 福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰
交通安全功労者 岩瀬 克夫 様、菅野 カツ子 様、小林 武男 様 優良運転者 富永 博文 様、渡邊 武夫 様
- 福島市長表彰 本田 由郎 様(松川支部金谷川分会)、門馬 傳一 様(松川支部松川分会)
- 福島市交通対策協議会長(市長)表彰 福島市交通対策協議会松川支部(丹野義明支部長)
- 東北管区警察局長・東北交通安全協会会長連名表彰 大槻 久史 様
- 全日本交通安全協会会長表彰(交通栄誉章「緑十字銅章」) 交通安全功労者 荒本 修三 様 優良運転者 渡邊 敏彦 様
- 福島警察署長・福島地区交通安全協会会長連名表彰 優良運転者
佐藤 アヤ子 様、丹治 恒衛 様、高橋 純一 様、佐藤 みか子 様、佐々木 規友 様、尾形 直子 様、丹治 智恵美 様
明石 国昭 様、長南 規夫 様、齋藤 長一 様、
渡辺 貞子 様、長南 仁吾 様
- 福島地区交通安全協会会長感謝状
渡邊 博子 様
- 福島市交通安全母の会連絡協議会長表彰
和田 真弓 様



受賞された皆さん

冬の交通安全街頭啓発活動を実施しました!

福島市交通対策協議会松川支部は、交通事故撲滅推進月間に合わせ、福島地区交通安全協会各支部、各交通安全母の会及び松川駐在所の協力のもと、11月30日(水)ファミリーマートAコープ松川店店頭において、反射材などを配布し交通事故防止を呼びかけました。



第14回 福島市社会福祉大会開催

11月11日とうほう・みんなの文化センターにおいて、多年にわたり社会福祉事業の発展と功労のあった方々に感謝の意を表すとともに、地域住民と福祉組織関係者とのつながり強化を目指し開催されました。

◇福島市長感謝状

丹治 恵美子 様 他13名
(民生委員・児童委員任期満了退任者)

◇大会会長表彰

民生委員・児童委員功労者
加藤 昌永 様
服部 宗作 様
(民生委員・児童委員の職にあって、在任期間15年以上で功績顕著な者)

◇大会会長感謝状

小熊 與太郎 様
丹野 行夫 様
(社会福祉協議会特別会員継続加入者)

12月からの民生委員・児童委員の皆さんです

3年の任期満了により、新たに民生委員・児童委員・主任児童委員が選任されました。退任された13名の皆さまには大変お世話になりました。

地区	氏名	新・再	地区	氏名	新・再
小池・西郷	荒木 壽雄	再	浅目・丸石・地蔵岡・船橋・第三	齋藤 弘江	新
南町・向町	酒田 富也	新	第四・靴屋・佛明内・古浅川・中沢	菊地 吉徳	新
天明根・中町・雇用促進	藤倉 勇	再	若宮・向坂・赤沼・一本松	齋藤 佳子	再
本町	齋藤 洋子	再	金沢上・北郷・大貝・天沼	加藤 昌永	再
石合町	門馬 傳一	再	金沢九・第八北・南郷	菅田 利男	再
美郷二・四	堀内久美子	再	関谷・前越・岩清水・市ノ沢・吉ノ口・東・坂下	河野 政彦	再
美郷一・三	堀内 和美	再	本山・並木・高並・高鳥谷・北瓦	河野 信子	再
石合南	廣瀬 真弓	再	笹平・上組・石倉・三極	茂木 喜一	新
石合北・美郷の一部	丹野 博	再	中組・宮組・関根	井口 豊子	新
原西	佐久間 清	再	山際・寺方	加藤 晴一	新
原中	中村 健一	新	関北・小南上下・板山	佐藤ひとみ	新
原東・天王原	實槻 澄子	新	坂ノ下・上ノ内	服部 宗作	再
			鍛冶屋・名目津・佐久間	國嶋 良夫	新
			戸ノ内	加納 武	再
主任児童委員	齋藤 静江	新	越田・日向	安齋 幸夫	新
	伊藤 明子	再	浜子・北・北原	千葉 義孝	新

松川学習センターからのお知らせ

【編集】福島市松川学習センター
〒960-1241 福島市松川町字杉内33番地
☎567-2323/567-2390
☎567-2403

2023 謹賀新年 本年もよろしくお祈りします

信陵・北信・松川・もちずり学習センター4館合同事業 スキー・スノーボード教室

小学4年生～6年生を対象にしたスキー・スノーボード教室を開催します。
レベルに合わせたインストラクターの丁寧な指導で、初めての方も安心してご参加いただけますので
お気軽にお申し込みください。



- 日時 2月4日(土)～5日(日)の2日間 ※両日帰り
- 場所 二本松塩沢スキー場 (集合は松川学習センター)
- 内容 スキーまたはスノーボードの初心者・初級者向けレッスン
- 対象 松川地区の小学4年生～6年生
- 定員 8名(先着順)
- 参加費 5,600円(2日分のリフト代、昼食代、保険代含む) ※用具やウェア等をレンタルする場合は別途レンタル代が必要です。詳細については、学校を通して配布するチラシをご覧ください。
- 申込み 1月5日(休)～16日(月)までに松川学習センター窓口または電話でお申し込みください。なお、電話で申込の方は、後日松川学習センター窓口へ、申込書と参加費等をお持ちください。
- その他 諸事業等により、中止となる場合もあります。予めご了承ください。

まつかわ幼稚園 3歳児保育のお知らせ

まつかわ幼稚園では3歳児の体験保育を行います。
まつかわ幼稚園で先生やお友達と一緒に遊びませんか？
日時：2月17日(金) 午前9時30分～
問合せ・申込みは、まつかわ幼稚園(☎549-0557)へ
※随時、園児募集中。

シニア向けスマートフォン利活用支援講座

シニア向けスマートフォン利活用支援講座を開催します。
「スマホの使い方がわからない」「スマホでどんなことができるかわからない」などスマホの使い方が不慣れな方を対象にスマホの便利さや楽しさを体験する講座になっております。お気軽にご参加ください。



- 日時：1月10日(火)、18日(水)、20日(金)、25日(水) 午後1時30分～3時
- 場所：松川学習センター 研修室1
- 対象：概ね65歳以上 ●定員：10名(先着順)
- 参加費：無料
- 持ち物：筆記用具、スマホ(お持ちでない方は貸出も可)
- 申し込み先：(株)マクスコムコミュニケーションズ
- 電話番号：080-8603-5544・080-8603-5545
080-8603-5546

図書室からのお知らせ

図書室 ☎024-567-2403

おひざにだっこのおはなし会	おはなしロケット
対象：3歳までのお子さんとその保護者	対象：4歳以上～小学生まで
日時：1月5日(木) 午前10時30分～	日時：1月7日(土) 午前10時30分～
	テーマ：「うさぎ」

1月の休館日：毎週火曜日・1～3・9・24～31日

22日(日) 貸出2倍キャンペーン開催
24日(火) ふくよみの日はお休みです

移動図書館 しのはろ巡回日程 1月30日(月)

金谷川小	水原小	下川崎小	松川小
10:00～10:40	11:00～11:35	13:00～13:40	14:30～15:00

会員募集 《松川気功教室》

健康のために始めてみませんか。
●日時 毎月第2・4土曜日 午後1時～3時
●場所 松川学習センター「和室」
●会費 1か月 2,000円
●講師 柏村裕之さん ●準備品 動きやすい服装
まずは、お気軽に見学に来てください。

松川の歴史紹介 地元を知るぞ! “面白いぞ” 松川の歴史 松川町文化財保存会会員 加藤 一郎

⑨「松川の文学碑」の紹介

福島市は、昭和61年に福島市史資料叢書第48号「福島のいしづみ」を発行している。その中の文学碑は161件(詩を除く)あり、松川に関する歌碑と句碑に限って見ていくと26件が掲載されている。他にも掲載外となったもの6件が一覧にしてあり、合わせて32件となる。松川がいかに文学的活動が盛んであったかを知る手がかりになるものと言えるだろう。これらの文学碑については「福島盆地を歩く会」で活躍されている星隆氏が20年以上も前に調査しており、会報の中で詳しく解説している。

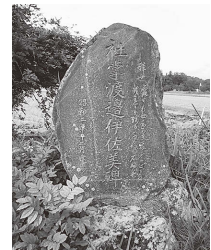
これらのうち約半数は、西光寺と盛林寺の境内に建てられている。今回は、松川の文学碑として、西光寺と盛林寺境内以外のも3件ほど紹介してみよう。

最初は「信夫隠しの歌碑」をあげる。現在は、元の奥州街道沿いから立正院駐車場の一角に移転されている。「思ひ遣る心の内をもらさじと忍ぶ隠しは袖か袂か」の歌が万葉仮名風に記され、相聞歌を思わせるもので「信夫隠し」の地名に掛けて詠みあげている。この歌碑の内容は近年まで解説されていなかったが、昭和51～52年頃ようやく解説された。町内の年配の方のご存じと思うが中町にあった高橋写真館の「高橋紫光」が何度も歌碑まで通って解説したものだという。なお、高橋紫光の歌碑は土合館公園の芝生広場の北側の丘に建てられている。

次は、わずか12歳で亡くなった野地勘助の辞世である。大坂坊地内日4号国道の西側沿線沿いの墓地にある。墓石の左側面に「ちることきつういそくや遅さくら 月松」と刻まれている。右側面には「弘化四(1847)天七月九日、行年十二才、俗名勘助」と記されている。今も俳句の天才として語り継がれている。参考までに墓地の中に国土地理院の一等水準点が埋設されていることを記しておく。

最後に、掲載外であるが、天満宮から西郷に向かう道路沿いの北側、石塔群の東端に立つ「社掌渡邊伊佐美」辞世の碑を紹介する。渡邊伊佐美は天満宮の神官であった。大きな碑面の正面右側に「辞世 露よりももろき我身のしも哉 消えては残る千代の石ふみ」と記されている。昭和2年の建碑である。

旧松川小学校運動場入り口に立つ「百年祭～」大谷谷泉歌碑。「春山に～」関根の服部童村歌碑。福島大学正門下方の畑の隅にある「浮雲の～」笹木園有網など、文学碑は町内各地に建てられている。五月晴れや小春日和のなか、のんびりと文学碑巡りを楽しみたいと思う。



埋崎、社掌 渡邊伊佐美碑